



特集

今、できることから一緒に考えよう
「国消国産」



世代を超えて挑む米づくり

今月の
表紙

さ さ き こう じ
佐々木 弘治さん (77)

さ さ き あ む
佐々木 亜夢さん (27)

管内有数の米どころ、矢巾町間野々で米づくりに励む佐々木弘治さん。およそ20haに及ぶ広大な田んぼを管理し、そのうち約15haでは、岩手県のオリジナル品種「銀河のしずく」を栽培しています。「若い頃は農業が好きではありませんでしたよ。いつも忙しそうに働いていた両親の姿を見て育ちましたから」と笑う弘治さん。長年、自営業を営む傍ら、農繁期には農作業を手伝うという生活が続いていましたが、15年ほど前に農業に専念することを決めました。

「毎年同じやり方で管理していても、その年の気候次第で収量や品質が左右されます」と、米づくりの難しさを語る弘治さん。特に、一昨年は猛暑の影響でシラタ（白未熟粒）が多く発生し、二等米比率が大きく落ち込んだといいます。今年の夏も厳しい暑さが続きましたが、水管理などの対策を重ねたことで「例年以上の出来が期待できそう」と話す弘治さんは、「ここ数年の気候の変化に向き合い、生産者がそれぞれ努力をしてきた結果だと思えます」と分析します。



『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。



基盤整備が進み、作業効率の良さが魅力の
矢巾町・間野々地域。地の利を活かし、大規
模な米づくりに取り組んでいます



午前は粳すり、午後は
稲刈り、夜間は乾燥。
1日を通じて、効率よく
作業が進みます



今年は「銀河のしずく」がデビューして9年目。弘治さんは
当初から栽培に取り組んできました。亜夢さんは「お客さ
まからは『甘みがあっておいしい』と好評。僕自身も冷めて
も食味の良いお米だと実感しています」と話します

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
佐々木 弘治さん・佐々木 亜夢さん(矢巾町)	
特集	4
今、できることから一緒に考えよう 「国消国産」	
NewsFile	8
25年の信頼関係さらに強固に ㈱フジとトップ会談 他	
営農情報	10
来年の水稲栽培に向けた土づくりについて 他	
女性部レポート	12
食べてみて！おらほのイチオシ まちのスマイル	13
シリーズ「協同組合」を考える サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！	
インフォメーション	14
参加者募集 農業男子とマッチング交流会 他	
今月のレシピ	16
手羽先とジャガイモのタッカンマリ風 (手羽先とジャガイモの韓国風塩煮込み)	



J Aいわて中央のホームペ
ジでは、広報誌のバックナ
バーを公開しています。
詳しくはこちら▶



そしていま、弘治さんの農業を支える心強い存在が、孫の亜夢さんです。普段は自動車販売店で働きながら、種まきや田植え、稲刈りといった農繁期にはまとまった休暇を取り、農作業をサポートしています。「正直、最初は農作業にかなり抵抗がありましたが、4年ほど前から農業機械の操作などを任されるようになり、少しずつ面白くなってきました」と話す亜夢さん。最近では、亜夢さんの友人も作業に加わり、3人で協力して農繁期を乗り越え

ています。亜夢さんは「友人は自分と違う視点で物事を見てくれるので、本当に心強い存在です。祖父はあまり多くを語るタイプではありませんが、作業を計画的に淡々と進めていく姿から学ぶことが多いです」と笑顔で語ります。年々請け負う農地が増え、栽培面積の拡大に伴って、今後はさらに作業量の増加が見込まれています。そうした中で「仕事と農業を両立しながら、祖父をサポートしていきたい」と意気込む亜夢さん。一方、弘

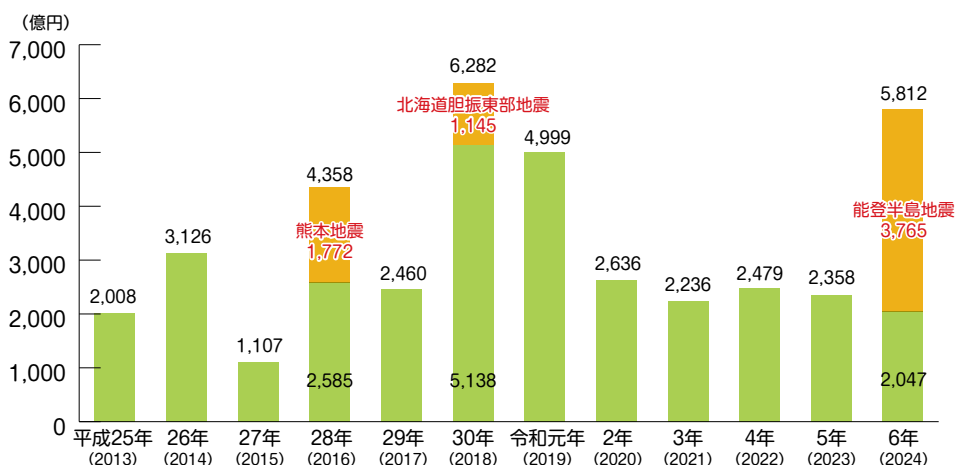
治さんも「米づくりは、ある程度の規模をしつかりと管理できれば、十分に続けていける仕事だと思っています。今は農業が嫌だと思うことはありませんね」と力強く語ります。かつては「農業」に対して、それぞれ迷いや不安を感じていた弘治さんと亜夢さん。しかし、経験や挑戦を重ねていく中で、その思いは前向きに変化しました。今、二人と地域の仲間たちが力を合わせて取り組む米づくりの先には、新しい農業のカタチが見えています。

今、できることから一緒に考えよう

「国消国産」



日本の農林水産関係被害額



出展：農林水産省（令和6年の被害額は未確定のため、令和7年5月12日時点）

異常気象による自然災害や世界情勢の影響などで、日本の農業や食を取り巻く環境は日々変化している中で、全国のJAグループでは日本の食と農を守り、未来へつなぐため「国消国産」を提唱しています。

今月の特集では「国消国産」の取り組みやキャンペーンについてご紹介します。

日本の「食」は さまざまなリスクに直面

現在、日本の食料自給率は約38%で過去最低の水準になっています。また、世界情勢の変化や円安の影響で、肥料や燃料などの生産資材価格は高止まりし、農畜産物の価格も大幅に上昇しています。さらに、人手不足や農地の減少による生産基盤の弱体化、世界的な人口増加による食料

自然災害が 世界の農業を直撃

近年、世界中で異常気象などの自然災害が多発しています。

「国消国産」とは？

日本でも豪雨や台風等の自然災害は頻発しており、農作物だけでなく農地や関連施設にも甚大な被害を与えています。直近の令和6年（2024年）の農業被害額は約5812億円にのぼりました。日本だけではなく、世界でも自然災害の発生が続けば、農畜産物が生産できなくなり、最終的には食料不足になってしまうリスクがあります。

日本は今、食料の約6割を海外に頼っています。いざという時の食料に困らないために、私たちには何ができるのでしょうか？

それは、私たちの国で消費する食作物は、できるだけこの国で生産していくことです。その考え方を「国消国産」といいます。

JAグループでは、令和2年から「国消国産」をキーワードとした様々な取り組みをすすめています。

「地産地消」と「国消国産」

「地産地消」とは

その地域で生産された農畜産物を、その地域内で消費することを「地産地消」といいます。

「国消国産」とは

「地産地消」をはじめ、国産の農畜産物を消費することで、食の安心をすすめていくこと。それが「国消国産」です。国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという考えです。

「地産地消」は、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する「国消国産」にもつながり、新鮮な地元の農畜産物を食べられるだけでなく、食料を長距離輸送する必要があるため、CO2削減にもなります。

持続可能な社会をSDGsにつなげる

「国消国産」

「地産地消」「国消国産」をすすめることは、持続可能な食料、農業、環境などSDGsの実現に貢献します。

「Aグループでは子ども食堂への食料提供、農業従事者への各種支援、フードロス削減など、様々な活動を展開し、SDGs達成を目指しています。」



「国消国産」で「食」の安心を次の世代に

食料は必要になったからといって、短期間で増産することではできません。一度荒れてしまった農地からまた農作物を収穫するためには、一から土づくりや水の確保などを行う必要があります。食料を作って欲しいと思っても、作る人がいなくなっているかもしれません。

私たちの食料を未来につなぐためには、私たち自身が考え行動することが大切です。

地元の農畜産物を意識的に購入する、日本の旬のおいしい食べ物を楽しむ、日本の食文化を堪能する、地域ごとに特色ある産直に行ってみる。私たちの毎日の「食」の安心はもちろん、子どもや孫たちの世代にまで、この日本という土地で豊かな実りが絶えることのないように、おいしい食卓を囲む笑顔が絶えることのないように、「国消国産」の取り組みは、日本の「食」のこれからにとって大きな意義をもっています。

提唱が始まった時期や背景

令和2年
(2020年)

12月から「A全中(全国農業協同組合中央会)」が「国消国産」を提唱、特設Webサイトを開設

令和3年
(2021年)

国連食糧農業機関(FAO)が制定した「世界食料デー」にあわせ、「A全中」が、10月16日を「国消国産の日」に制定

令和4年
(2022年)

10月、11月を「国消国産の日」にあわせ、「国消国産月間」に設定し、啓発活動が活発化

令和7年
(2025年)

岩手の農業の魅力や「国消国産」の取り組みを発信するため、「Aいわてグループ」がWEBページ「いわてから『国消国産』」を開設



JAでは、「国消国産」の考え方を広くPRするため
様々な取り組みを行っています。

「国消国産」を学ぶ 子どもたちに地域農業への理解を 「ちゃぐりんスクール」

JAは9月20日、今年度1回目の
ちゃぐりんスクールを開き、管内の
小学生の児童と保護者13組32人
が参加しました。

当日は雨天のため稲刈り体験は
中止となりましたが、矢巾カントリー
エレベーターなどを見学し、JA施設
の役割や米の乾燥・調製の流れを
学びました。その後、JA青年部の盟
友が講師を務め、すり鉢を使った糰
すりやオリジナル米袋作りに挑戦。
昼食には「しわもちもち牛」を使った
みそハヤシライスを味わいました。



稲穂を手にとり観察する児童ら



糰すりを体験しました

「国消国産」を選ぶ 岩手の旬の食材をPR 「食農立国おもてなしフェア」

JAは9月20日・21日の2日間、
相対取引先である(株)フジの広島県・
愛媛県内の5店舗で「JAいわて中
央食農立国おもてなしフェア」を開
催しました。

フェアでは、JAりんご部会の藤
村智部会長や部会員、岩手まるごと
おもてなし隊、いわて純情むすめ、
JA職員らが店頭に立ち、旬のリン
ゴや西洋なしを中心に、米や野菜
など、管内産の農産物を販売。旬
の食材の魅力や「国消国産」の重
要性について来店客へPRしました。



サンつがると「きおう」の
試食を提供しました



来店客に説明をする藤村部会長

実りの秋! 「**国産**」を食べて、
農業を応援しよう!

「**国消国産**」月間キャンペーン

今年もうれしいキャンペーンを開催中!
ふるってご参加ください!



10月16日は 「**国消国産**の日」

国連が制定した「世界食料デー」に合わせ、JAグループでは毎年10月16日を「国消国産の日」に制定しました。また10月・11月を「国消国産月間」と位置づけ、国産農畜産物の魅力や食と農の現状を発信する取り組みを行っています。



JA直売所キャンペーン 2025



実施期間 令和7年**11月30日**まで

スタンプを集めて応募

選べる! 47都道府県の 農畜産物・加工品コース

期間中にJAが運営する直売所へ足を運び店内掲示ポスターのQRコードからスタンプをためて応募すると、抽選で47都道府県とっておきの3,000円相当の農畜産物・加工品が当たります。

お買い物レシートで応募

LINEから!

国産和牛・オリジナルグッズコース

JA直売所で税込1,000円以上お買い物したレシートを「JA直売所キャンペーンLINE公式アカウント」に送ると、抽選で「国産和牛」か「笑味ちゃん×ハローキティオリジナルペアマグカップ」が当たります。

管内の対象店舗

サン・フレッシュ都南



対象店舗は
こちら



参加方法

① JA直売所に行こう!

全国約1,700か所にあるJA直売所では、地元の新鮮・とれたて食材が勢ぞろい。JA直売所を探してみよう!

② 店内ポスターもしくは初回参加登録用二次元コードを読み込んで参加登録

「JA直売所キャンペーンLINE公式アカウント」を友だち追加して、LINEログインすると登録できます。

③ 店内ポスターからスタンプ取得用の二次元コードを読み込み、スタンプを集めよう

スタンプ取得はお一人様につき1日1つまで。別日にJA直売所にご来店いただくことで、同じ店舗でも異なる店舗でも複数のスタンプを取得できます。

④ スタンプ2つで1口、3つでもう1口の応募が可能

スタンプを繰り返し集めれば何口でも応募できます。47都道府県の商品から好きな商品が選べます。



今だけ対象商品がお客様送料負担なし! JAタウンキャンペーン

実施期間 令和7年**11月30日**まで

※規定数に達した場合、予告なく終了いたします

おいしい「国産」がいっぱいのJAタウンは、JA全農が運営する産地直送通販サイトです。この秋、全国の農畜産物・加工品を購入できるJAタウン内の特設ページに掲載される対象商品が、お客様送料負担なしで買えるお得なキャンペーンを実施しています。JAタウンで、おいしい秋の味覚を楽しみましょう!



ご注文は
こちら





これまでの取り組みや今後の展望について、意見交換を行いました



25年の信頼関係さらに強固に (株)フジとトップ会談

J Aでは9月26日、相対取引先である(株)フジの本社(広島県広島市)でトップ会談を行いました。同社の山口晋代表取締役社長や盛岡市の内舘茂市長、J Aの佐々木雅博組合長など11人が出席。会談では管内の農作物の収穫状況などを情報共有し、店舗を通じて産地の魅力を消費者に伝えるなど、さらに連携を強めることを確認しました。

(株)フジで当J Aのリンゴ販売の取り組みが始まって今年で25年。現在は果樹のほか野菜や米なども取り扱われており、販売品目が拡大しています。



鎌を使った稲刈りに挑戦 盛岡市立飯岡小学校

盛岡市立飯岡小学校の5年生53人は9月16日、校舎東側にある田んぼで、もち米「ヒメノモチ」の稲刈り体験を行い、黄金色に実ったお米を収穫しました。

児童らは、5月に田植えをした田んぼで地元生産者の浅沼清一さんやJ A職員らに教わりながら、鎌を使った稲刈りに挑戦。参加した児童は「思ったより稲が硬くて刈るのに力が必要だったけど楽しかった」と笑顔を見せ、浅沼さんは「色々な人たちの協力があって順調に稲が育った。みんなに感謝をして収穫祭を迎えてほしい」と話しました。



稲を収穫する児童ら



枝豆の選別作業をする参加者



紫波町で6年ぶりに開催 国際ワークキャンプ

紫波町国際交流協会では9月3日から10日まで紫波町内で国際ワークキャンプを開催しました。イタリアやエストニアなどから7人が参加し、10日には同町草刈の農事組合法人ゆいっこの里犬草で枝豆の選別作業や袋詰めなどを行い、従業員と一緒に汗を流しました。

イタリアから初めて参加したアラン・デボリさんは「観光では知ることのない日本のより深い文化に触れることができた。今まで生きてきた人生の中で一番いい経験になった」と笑顔を見せました。

・SDGsへの ・取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



「生産資材の価格高騰対策」「共同利用施設の再編整備」「鳥獣被害対策」を含む8項目を要請しました



農業現場の声を届ける

農業・農村関連施策に関する要請

JAいわてグループは9月24日、岩手県議会に対して「農業・農村関連施策に関する要請書」を提出しました。県議会議員をはじめ、県内各JAの役員や関係組織の代表者ら計32人が出席。JA岩手県中央会の伊藤清孝代表理事長と荻谷雅行副会長理事が、岩手県議会の工藤大輔議長と飯澤匡副議長へ要請書を手渡しました。

佐々木雅博組合長は「生産基盤の整備は不可欠。国の補助事業に関する手続きの簡素化・迅速化を働きかけていただくとともに、県の助成制度整備を願う」と述べました。



日本のリンゴ生産技術を学ぶ サンジョキアン農協が視察

ブラジル・サンジョキアン農協の組合員などは9月24日、スマートフレッシュ処理施設などを視察しました。

日本のリンゴ生産技術などを学ぶことを目的に来日し、視察には同農協の職員や組合員23人が参加。JA担当者が管内のリンゴ生産の取り組みなどを説明したあと、スマートフレッシュ処理施設や都南選果場で選果作業を見学しました。サンジョキアン農協のウメヤマコト組合長は「ブラジルでは大量のリンゴをレーンに流すので、一つずつ選果をしていることに驚いた」と話しました。



選果場を見学する視察団



部員75人が参加し、腸を整えるためのストレッチや呼吸法も体験しました



腸内環境を整え美容と健康に

紫波地域女性部

JA紫波地域女性部は9月25日、紫波支所で「紫波地域女性部わくわくセミナー」を開きました。

盛岡市内で腸活サロンNo.1を運営する平山和さんを講師に迎え、「かんたん腸活で便秘、不調にさようなら」と題して講演が行われました。平山さんは、^{こうじ}麹を摂取することや正しい姿勢と呼吸を意識することなど、腸内環境を整えるために大切なポイントや効能を紹介。参加した部員からは「長年便秘に悩み仕方ないと諦めていたが、改善できるポイントが学べてよかった」と感想が寄せられました。

米穀

来年の水稲栽培に向けた 土づくりについて

今月の担当

サブセンター盛岡米穀課
調査役 大森 理史



今年の夏以降の少雨により

ダムやため池の貯水量が低下し、水稲栽培では最も水が必要な出穂から開花期に水不足が生じ、栽培管理が難しい年となりました。また、近年は高温の影響による米の品質低下や収量減少が発生しています。高温などの異常気象に対応できるような土づくりに取り組みましょう。

1. 土づくりの方法

地力増進と有機物の腐熟促進のため、次の方法で土づくりを行います。

① 堆肥の施用

完熟堆肥を施用することで、根張りの促進・向上での倒伏耐性や養水分の吸収力向上など、土づくりに対する総合的な効果があります。

② 稲わらの秋すき込みと腐熟

促進資材の施用

土壌微生物の活動が盛んな秋のできるだけ早い時期に行うことで、より効果が期待で

銘柄	目的				施用量 (kg/10a)	施用時期
	稲わら腐熟	珪酸補給	磷酸補給	その他		
ペレット状わらゴールド	◎				30	秋
鶏ちゃんパワー	○		○	土づくり、基肥・追肥の代替等	30~45	秋・春
シリカ未来		◎			60~100	春
ケイカル		◎			100~140	秋・春
混合りん肥新3号		◎	○	微量要素	100~140	秋・春
石灰窒素	○				20	秋

【表】各種土壌改良資材

農作物の盗難に 注意しましょう！

全国各地で米や果樹、野菜などの農作物の盗難が発生しています。被害を未然に防ぐため、下記の防犯対策を心がけましょう。

- 圃場や園地の見回りを強化する
- 作業小屋や倉庫の施錠
- 防犯カメラ、人感センサー付ライトの設置・活用
- 不審者・不審車両を見かけた際は、ナンバーや特徴を記録
- 近隣の生産者と情報を共有し、地域ぐるみで警戒体制を強化

2. 秋耕起作業

収穫後の秋耕起は来年に向けての水稲栽培に大切な作業となります。

秋の耕起作業は雑草の塊茎

きます。また、腐熟促進資材を施用することで、生育阻害の原因となる有毒ガスの発生を軽減できます。

③ 土づくり資材の施用

ケイカル等の珪酸質資材を施用することで病気や倒伏に強い稲体づくりが期待できます。また、土壌改良資材は流亡が少なく、秋に施用することで春作業の負担が軽減できます。

3. 農作業安全

近年、農作業事故が多発しており、秋が深まるにつれて日没が早まることから、農作業事故の危険性が高くなります。

ゆとりのある計画的な作業を行い、農作業事故防止を心がけましょう。

を冬場に枯死させる効果や、翌年の雑草の発生を軽減させる効果が期待できます。また、稲株や稲わらをすき込むことで分解が進み、根腐れの原因となるワキの発生を軽減することができま

子牛市場情報 (令和7年9月18日・中央家畜市場)

地 区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比		地 区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫 波	16	663,000	483,000	555,750	288	9,519	去勢	紫 波	22	787,000	316,000	644,273	326	42,585
	矢 巾	5	533,000	446,000	491,600	267	-72,525		矢 巾	10	752,000	551,000	628,200	316	-27,436
	盛 岡	3	571,000	532,000	554,667	283	3,417		盛 岡	7	761,000	574,000	679,143	314	13,893
	J A 計	24	663,000	446,000	542,250	283	-10,510		J A 計	39	787,000	316,000	646,410	321	9,948
	市場計	103	729,000	304,000	543,981	286	5,408		市場計	156	905,000	121,000	640,962	318	626

秋期営農・生活座談会

J Aは8月20日～9月5日の期間、管内30会場で令和7年度秋期営農・生活座談会を行い、381人の組合員が出席しました。座談会で頂いたご意見や質疑応答の一部をご紹介します。

Q. 米価下落により販売単価が概算金を下回る場合、農家はJ Aに返金することになるか。

A. 本精算ができるように試算をして概算金を設定しております。概算金を下回らないよう販売先と価格交渉を行っていきます。

Q. 令和8年産米の作付目安はどうか。小麦の栽培を減らして良いか。

A. 政府が米の増産に向けた動きを見せており、今回水稻の作付目安は設定しておりません。国としても、今後目安は示さないものと思われれます。しかし、小麦栽培については8年産の播種前契約面積に基づいた作付けを行うようお願いいたします。なお、水稻の作付拡大

については、調整水田や自己保全水田等の休耕田で作付けを行うようお願いいたします。

Q. 乾燥施設の利用料金について知りたい。

A. J A施設は荷受け重量で算出し、荷受け時の水分値で段階的に単価を設けた料金設定になります。

Q. 紋枯れ病の農薬防除について知りたい。

A. 近年、温暖化の影響により発生が多く見られます。薬剤防除として、紋枯れ病に効果のある箱施用剤の使用がありますが、一回の使用では完全に防除することができないため、2～3年続けて使用することが必要になります。

Q. 「サラブレッドGO」を3年使ったが、4年使用しても大丈夫か。

A. 継続使用も可能ですが、特定の雑草が残るようであれば、別の除草剤へ変更してください。同じ除草剤を毎年使用することは抵抗性雑草の増加を助長するとされています。そのため、連用せず、定期的に薬剤を変更するようにしてください。

Q. 今年のカメムシの発生状況はどうか。

A. 今年は水稻だけでなく、野菜や果樹などさまざまな作物で、カメムシの発生が例年より多く確認されている状況です。

生産資材課からのお知らせ

冬期のグリーンセンターの営業について

11月～3月上旬 土・日・祝日休業

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

令和8年春肥料・農薬の配達開始について

配達期間 令和7年10月上旬～
令和8年2月末(予定)

今年度は農薬も10月から配送いたします。

期限切れ農薬などの回収について

回収日時 令和7年11月8日(土)

回収場所 各地域グリーンセンター

詳細は、10月9日(木)付の組合員配付文書をご覧ください。

配達に関するお問い合わせ

受注センター
フリーダイヤル 0800-800-0007

注文の変更・使用方法に関するお問い合わせ

各地域グリーンセンターへ

女性部レポート
JA Ladies
Female department Report

開発途上国の子どもたちへのワクチン支援に貢献 ペットボトルキャップを寄付



ポリオワクチン約
130人分のペット
ボトルキャップを
寄付する女性部役
員ら

J A女性部は9月10日、廃プラスチックを買い取り再生資源として活用する㈱ピーシングに、部員から集めたペットボトルキャップ521kgを寄付しました。寄付されたペットボトルキャップの買取額は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付され、開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを届ける活動に活用されます。

鎌田都美子部長は「猛暑で水分補給をしている人が増えているためか、ペットボトルキャップの数が気温に比例しているように年々増えている。これだけの数が集まったのは部員のみなさんの協力の賜物。感謝しています」と話しました。

部員
募集中!

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】

紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211

盛岡地域 ☎656-3700



— リンゴの果肉感をいかした
やさしい味わい —

おすすめは

ザクザク果肉の アップルジャム

1個398円(税込)

徳丹城跡公園の北側で旬のリンゴや花などを販売する「KORIN GARDEN」。盛岡市乙部にある自家農園で大切に育てたサンふじを贅沢に使い、果肉感をしっかり残した「ザクザク果肉のアップルジャム」は甘さを控えめに仕上げたリンゴ本来のやさしい味わいと心地よいザクザク食感が楽しめます。パンに塗るのはもちろん、クリームチーズと合わせてクラッカーにのせればちょっと特別なおやつやおつまみに。また、無添加・砂糖不使用の「りんごジュース」や「飲むりんごゼリー」も人気です。店頭ではソフトクリームやコーヒーなどのテイクアウトメニューも充実しているほか、季節の花やブーケ・アレンジメントも販売し、贈り物や記念日に合わせたギフトも対応しています。

食べてみて!

おらほのイチオシ

矢巾町・西徳田

お花とりんごのお店

コリン ガーデン

KORIN GARDEN

〒028-3603

矢巾町西徳田3-209

TEL 656-8311

【営業時間】

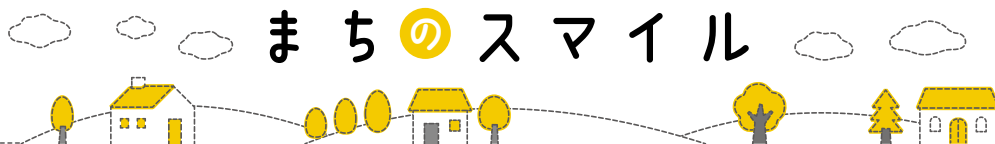
月～土 10:00～17:00

日曜 10:00～16:00

【定休日】木曜日

Instagram





なかよし
ファミリー

矢巾町・上矢次

中塚達也さん・加奈子さんのお宅

なかつか り ひと

り る

中塚 理人くん(7) 理瑠ちゃん(4)

「お友達とジャングルジムで遊ぶのが好き」と話す理人くんは、自宅で牛の世話のお手伝いもする頼もしいお兄ちゃん。父・達也さんの影響でハンドボールを始めたばかりで、これからの活躍が楽しみです。妹の理瑠ちゃんはお絵描きが得意でディズニープリンセスのキャラクター・ラプンツェルを描くのもお手のもの。大好きな白いご飯を毎日食べて元気いっぱいに過ごしています。

お母さんは「二人とも慎重なところがありますが、このまま優しい人に育ってほしいです」と成長を見守っています。

シリーズ



Vol.7

「協同組合」を考える

協同組合の運営原則

第3原則 組合員の経済的参加

協同組合原則の第3原則は、公平な出資や剰余金の使い方など組合財産の民主的管理についての指針です。

【剰余金はみんなのために使う】

一般に、収益と費用の差は「利益」と呼ばれますが、協同組合では「剰余金」といいます。これは、組合員が組合の事業を積極的に利用し、役職員が事業の合理化や経費の節約に努めた結果として生まれたものであり、「お金を儲けた」のではなく「お金が余った」という考え方に基いています。

剰余金の使い道について、第3原則では公平に組合員全体の利益につながるよう定められており、将来のための準備金や事業の利用度に応じた割り戻し、地域社会への貢献に使われます。

出資金をはじめ、剰余金や準備金など協同組合の財産の使い道は組合員が参加する総会や総代会で議論されて決定します。このように、公平な出資と意思決定による「経済的参加」こそが協同組合の基本です。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



2025年国際協同組合年(IYC2025)に関する情報はこちらから▲



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!

今月の店長のおすすめ!



高橋店長

里芋



収穫の秋を迎え、出荷量が増えてきた里芋は親芋や子芋、孫芋など食べる部分によって様々な料理が楽しめます。特に、地元・津志田地区で採れる「津志田芋」はもちりとした粘りが特徴で「芋の子汁」にすると、とろけるような食感が味わえます。旬の食材はぜひ当店で!

イベント情報

●JAいわて中央・
サン・フレッシュ都南
秋の収穫感謝祭
10/25(土)・26日(日)



サン・フレッシュ都南

盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801 営業時間9:00~18:00

クロスワード

二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、
今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛に
お送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都
南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月の
テーマ

私のリラックス法

応募締切 10月29日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20

JAいわて中央

「JAんぶ10月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム▶

E-mail

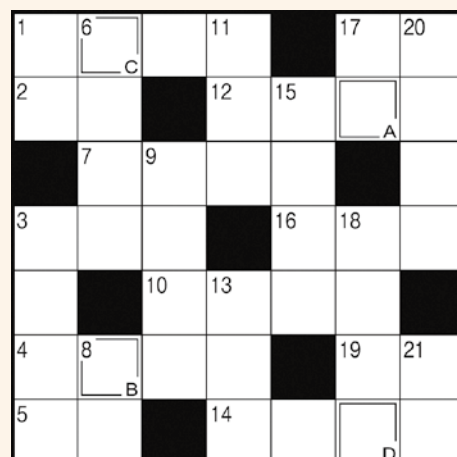
kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

\コチラから/



9月号の答え

「ラッカセイ」



※ご記入いただいた個人情報は、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ①10月の第2月曜日はスポーツの日。以前は——の日でした
- ②祭りのときに引く車
- ③——雨だよ、すぐに止むさ
- ④塩分濃度は低め、麴の割合は高めな味噌
- ⑤ドングリがなる木の一種
- ⑦彼女は免許——の腕前だ
- ⑩悪臭を放つことで知られる動物
- ⑫傘がたくさん重なった形の食用キノコ
- ⑭ハワイアン演奏にも使われる弦楽器
- ⑯玄関の上がり——に腰かけて話した
- ⑰秋にもおいしい紫色の野菜
- ⑲教育、勤労、納税は国民の三大——です

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ①お代はいただきます
- ③転職をしたいが、いざとなると——を踏んでしまう
- ⑥金箔の生産量第1位の市がある都道府県
- ⑧皿を数えるときに使う言葉
- ⑨あえるとパスタが黒くなります
- ⑪落ち葉をかき集める道具
- ⑬ハロウィーンの日を楽しむ人もいます
- ⑮役場で——証明を取ってきた
- ⑰薪割りに使う刃物
- ⑲事件はあつけない——を迎えた
- ⑳写生をこうもいいます
- ㉑動物や鳥などの集団



おたより紹介 テーマ▶部活



次男、三男が子どもの頃、野球部
に入っていて、三男が紫波一中で県
大会優勝を成し遂げ、秋田県で開
催された大会に連れて行ってくれま
した。息子たちの追っかけ、とてもワ
クワクした思い出です。

(北日詰・C/70歳)

学生の頃は部活が大好きでし
た。体操部でマット運動や跳び箱が
得意でクラスの体育の時間は「〇
〇子、前に出てみんなにお手本を
見せてあげなさい」と言われること

がよくあり嬉しかったです。

(中島・I/75歳)

高校の部活の練習が一番キツく
て、でも部員みんな最高に楽しいメ
ンバーでいい思い出しかありませ
ん。少しいからあの頃に戻って
みたいです。

(二日町・A/56歳)

30代の自分でさえ中学校の部活
動は部員数が多くて試合に出られ
ないなんてことがあったのに、今で

は競技ができないほど生徒数が少
なく、他校と合同で活動することも
あるそうです。我が子が部活動を始
めるまであと10年以上ありますが、
どんな状況になっているのかなと
気になりだした今日この頃です。

(津志田・S/31歳)

中学の時にアニメの影響でテニ
ス部に入りました。うまくいかず文
化部に変更しました。

(又兵衛新田・S/60歳)

理事会報告

9月定例理事会が9月29日、
紫波支所で開かれた次の事案につ
いて決議されました。

【決議事項】

1 JAバンクに対する「JAいわ
て中央不祥事再発防止策
(令和7年8月)」の取組状
況報告

2 当組合における取引のリス
ク評価書・総括表の二部変更

退職者

令和7年9月30日付で次の
方が退職されました。

今後のご健勝とご活躍を祈
念いたします。()は前所属。

◆山田 哲

◆(矢巾支所共済課L A)

◆夕向 遥香

◆(盛岡支所共済課L A)

人事異動

令和7年10月1日付で人事
異動が発令されました。()は
前所属。

◆矢巾支所共済課L A

◆藤原 靖洋(都南支所共済課

長)

◆都南支所共済課長

◆畑山 幸利(共済部普及課)

役員手帳



協同組合の
源流に触れる

常務監事
小岩 裕基

先日、監事の研修会が新横浜で開催されました。新幹線で会場に向かう途中、「新横浜の次は小田原…」との車内アナウンス。その時ふと「小田原には二宮尊徳記念館がある」と聞いたことを思い出しました。尊徳先生といえば『日本の協同組合の源流』。一度行ってみたいと思っていた場所です。“ここで耳に入ったのは何かの縁”と、研修終了後、猛暑の中、何かに惹かれるように向かいました。

ガイドの方の説明で心に残ったのは、菊池雄星投手・大谷翔平選手の母校・花巻東高校では、尊徳先生の「報徳の教え」（感謝・報恩・奉仕・勤勉・進取）を教育理念に掲げているということ。両選手は競技成績のみならず、その教えに基づくような振る舞いや人間性も称賛され、岩手県民として誇りに感じています。

一方、私たちJAも協同組合の『源流』を体現する組織として事業・活動を行っていますが、「令和の米騒動」では根拠なきJA悪玉論にさらされ、とても悔しい思いをしています。後日、農水省は、米不足は生産量の不足で流通の目詰まりはなかったことを報告。JAの意図的な米の抱え込みはなかったことが判明しました。

私たちは世界から称賛される思想を源流に持つ「協同組合」であるということ誇りに、今後も組合活動・事業に結集してまいります。

INFORMATION

参加者募集 農業男子とマッチング交流会

世界遺産のまち平泉を散策し、心あたたまるご縁を

日時 令和7年11月29日(土)9時30分～17時

行程 JA紫波支所集合→昼食「平泉わんこそば」を堪能→中尊寺散策→産直来夢くん→JAにて交流会

参加資格 男性：真剣に交際相手を探す独身男性農家、
JAいわて中央組合員・組合員家族
女性：真剣に交際相手を探す独身女性
年齢：20代～40代

参加費 男性：4,000円 女性：2,000円

募集人数 男女各10名 ※定員となり次第、募集を終了します

締切 令和7年11月14日(金)

お申込み JAホームページの申込専用フォームからお申込みください

お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7468



各地域秋まつりのご案内

第40回紫波町産業まつり

日時 10月18日(土)10時～16時／19日(日)9時～15時

場所 サン・ビレッジ紫波

令和7年矢巾町秋まつり

日時 10月18日(土)10時～16時／19日(日)10時～16時

場所 矢巾町役場駐車場内特設会場

JAいわて中央・サン・フレッシュ都南秋の収穫感謝祭

日時 10月25日(土)9時～16時／26日(日)9時～15時

場所 サン・フレッシュ都南店、JA都南支所第1駐車場内特設会場

第39回盛岡市農業まつり

日時 10月25日(土)10時～15時／26日(日)10時～15時

場所 もりおか歴史文化館前広場など

稲藤一のそば

第18回新そばまつり

県内有数のそば産地・紫波町で収穫されたばかりの「新そば」を挽き、打ちたてのそばを堪能できるほか、「紫波もちもち牛コロッケ」や「紫波コーラ」など、おいしいグルメも大集合！お誘い合わせてぜひご来場ください。

日時 令和7年11月9日(日)10時30分～14時

会場 ラ・フランス温泉館 交流プラザ

お問い合わせ ラ・フランス温泉館 新そばまつり事務局 ☎673-8555



手羽先とジャガイモのタッカンマリ風 (手羽先とジャガイモの韓国風塩煮込み)

材料(4人分)

- ジャガイモ 2個
- ネギ 1本
- エノキタケ 1パック
- ニンニク 1片
- 手羽先 8本
- ショウガ(スライス) 2枚
- 酒 100ml
- 水 600ml
- 塩 小さじ2

お好み

- 黒こしょう 適宜
- ポン酢しょうゆ 適宜
- 小口ネギ 適宜

作り方

- ① ジャガイモは皮をむいて2cmの厚さにカットし水にさらしておく。ネギは2cmのぶつ切り、エノキタケは石突きを落とし半分に切ってばらす。ニンニクは皮をむいて包丁の腹でつぶす
- ② ジャガイモ以外の材料を鍋に入れて火にかける。沸騰したらあくを取って、弱めの中火で15分煮込む。ジャガイモを加えてさらに15～20分煮込む
- ③ お好みで黒こしょうやポン酢しょうゆ、小口ネギをかけた

編集後記



広島県でのトップ会談に同行し、フジグラン広島店で開催中の「いわて産直フェア」を視察。管内産のリンゴがずらりと並ぶ売り場でリンゴを購入されたお客様から「美味しいから毎年買っている」と声をかけられ、岩手の味が広島に届いていることを実感し、美味しさを支える生産者の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



亜夢さんが自然体で農業に取り組む姿から、柔軟で多様な関わりがこれからの農業の可能性を広げる——そんな希望を感じました。なにより、亜夢さんが農業に向き合えるのは、祖父・弘治さんの人柄があってこそでしょう。「友だちと一緒に働けるのが嬉しい」と話す笑顔も印象的で、皆さんの穏やかな関係性に触れ、心がふっとほだける取材になりました。